

ねん がつ にち
2025年3月23日

しじゆんせつだい しゆじつ
四旬節第3主日

きくち いさお すう きぎょう
菊地 功 枢機卿 メッセージ

わたしたち限られた時間しか与えられていない存在にとって、永遠の時の流れを理解することはできません。永遠の時の流れの中では、わたしたちの人生はほんの一瞬に過ぎないからです。その理解を超えた時間の流れの中で、神はいのちを創造し、賜物として与え、さらに人類の裏切りを忍耐強く見守り、さらにはご自分が愛を込め、その似姿として創造したいのちを救うための計画を成し遂げて行かれようとしています。救いの計画は、わたしたちの理解を遙かに超えています。

ルカ福音は、度重なる人類の裏切りに対して神がその怒りをわたしたちに向けないのは、いつくしみのうちに忍耐強く待つておられるからであり、わたしたちは生かされているのであって、自由に生きていることをゆるされているわけではないと示唆する、イエスの言葉を記します。

「あなた方も悔い改めなければ、皆同じように滅びる」と言うイエスの言葉は、わたしたちを回心へと導きます。四旬節は、わたしたちを生かしている神の救いの計画の壮大さと、わたしたちを包む神のいつくしみの深さを心で感じ、常に回心へと導かれていることを心に刻むときです。

教皇様は今年の四旬節メッセージ、「希望をもってともに歩んでいきましょう」において、わたしたちの回心について三つの側面から語っておられます。

その最初の側面は、巡礼者として「歩む」ことにあると教皇様は指摘され、「約束の地へと向かうイスラエルの民の長い旅路」に心向け、そこにあつて「奴隷状態から自由へのこの険しい道のお望みになり導かれたのは、ご自分の民を愛し、その民につねに忠実であられる主です」と、時間の枠を遙かに超えた救いの計画のうちにわたしたちが生かされ、神の民として旅を続けている存在であることを思い起こすように呼びかけます。

その上で、^{うえ きょうこうさま}教皇様は、「^{せいしょ しゅつ}聖書の^{かんが}出エジプトを^{げんだい}考えるとき、^{じぶん あい かぞく}現代にあつて、^{せいかつ もと}自分や愛する家族の^{こんぎゅう ぼうりょく}よりよい生活を^{のが}求め、^{たびだ きょうだい しまい}困窮や暴力から^{おも}逃れようとして^{かいしん さいしょ よ}旅立つ兄弟姉妹の^うことを^う思わ^うずには^ういら^うれ^うませ^うん。ここで、^う回心の^う最初の^う呼びかけが^う生まれ^うます」と^う指摘^うします。同^うじ^う旅^う人^うである^うわた^うした^うち^うにと^うつて、「^{いみん いじゅうしゃ ぐたいき げんじつ む あ}移民や移住者の^う具体的な^う現^う実^うに^う向^うき^う合^うい、^うそれ^うに^う実^う際^うにか^うか^うわ^うつて、^{おんちち いえ む}御父の家へ^うと^う向^うか^うう^うより^うよ^うい^う旅^う人^うと^うな^うる^うた^うめ、^{かみ}神が^うわた^うした^うち^うに^う何^うを^う求^うめ^うて^うい^うる^うか^うを^う見^うい^うだ^うす^うこ^うと^うは、^{しじゅんせつ たんれん する}四旬節の^うよ^うい^う鍛^う錬^うと^うな^うる」と^う記^うし^うて^うい^うま^うす。

わたしたちは、^{そうぞう はる こ}想像を^{かみ すく}遙かに^{けいかく なか い}超えた^う神^うの^う救^うい^うの^う計^う画^うの^う中^うで^う生^うか^うさ^うれ^うて^うい^うる^う存^う在^うで^うす。時^うの^う流^うれ^うの^う中^うを^う旅^うす^うる^う神^うの^う民^うで^うす。生^うか^うさ^うれ、^う救^うい^うへ^うと^う導^うか^うれ^うて^うい^うる^うこ^うと^うに^う感^う謝^うし、^う困^う難^うや^う暴^う力^うに^うさ^うら^うさ^うれ^うる^う中^うで^う旅^うを^う続^うけ^うる^う多^うく^うの^う兄^う弟^う姉^う妹^うへ^うと、^う心^うを^う向^うけ^うた^うい^うと^う思^うい^うま^うす。

^{しじゅんせつ だいに きんようび せんじつ がつ にち}四旬節の^う第^う二^う金^う曜^う日^う、^う先^う日^う3月^う21日^うは「^{せいぎやくたい ひ がいしゃ}性虐待被害者の^うた^うめ^うの^う祈^うり^うと^う償^うい^うの^う日^う」で^うあ^うり^うま^うす。

^{かみ にすがた}神^うの^う似^う姿^うと^うして^うの^うい^うの^うち^うの^う尊^う厳^うを^う守^うる^う務^うめ^うを^う率^う先^うす^うる^うべ^うき^う聖^う職^う者^うや^う霊^う的^う指^う導^う者^うが、^う信^う頼^うを^う裏^う切^うつて、^うい^うの^うち^うの^う尊^う厳^うを^うな^うい^うが^うし^うろ^うに^うす^うる^う行^う為^う、^うと^うり^うわ^うけ^う性^う虐^う待^うと^うい^うう^う人^う間^うの^う尊^う厳^うを^う辱^うめ^う蹂^う躪^うす^うる^う行^う為^うに^うお^うよ^うん^うだ^う事^う例^うが、^う日^う本^うを^う含^うめ^う世^う界^う各^う地^うで^う報^う告^うさ^うれ^うて^うい^うま^うす。^う教^う会^う共^う同^う体^うの^う中^うで、^う被^う害^うを^う受^うけ^うら^うれ^うた^う方^うに^うあ^うた^うか^うも^う責^う任^うが^うあ^うる^うか^うの^うよ^うう^うな^う言^う説^うで、^う二^う次^う加^う害^うを^う生^うみ^う出^うす^う事^う例^うも^う聞^うか^うれ^うま^うす。

と^うも^うに^う希^う望^うの^う巡^う礼^う者^うと^うして^う歩^うむ^う教^う会^うは、^うい^うの^うち^うを^う生^うき^うる^う希^う望^うを^うあ^うか^うし^うる^う共^う同^う体^うで^うな^うけ^うれ^うば^うな^うり^うま^うせ^うん。それ^うを^う裏^う切^うつて^う立^う場^うを^う利^う用^うし、^うい^うの^うち^うの^う尊^う厳^うを^う傷^うつ^うけ^うた^う聖^う職^う者^うや^う霊^う的^う指^う導^う者^うの^う加^う害^うを、^う心^うか^うら^う申^うし^う訳^うな^うく^う思^うい^うま^うす。よ^うり^うふ^うさ^うわ^うし^うい^う対^う応^うを^うす^うる^うこ^うと^うや、^う啓^う発^う活^う動^うを^うす^うる^うこ^うと^うに、^うこ^うれ^うか^うら^うも^うさ^うら^うに^う取^うり^う組^うん^うで^うい^うき^うた^うい^うと^う考^うえ^うて^うい^うま^うす。

わたしたち^う司^う教^うや^う聖^う職^う者^うが^うこ^うの^うよ^うう^うな^う罪^うを^う繰^うり^う返^うす^うこ^うの^うな^うい^うよ^うう^うに、^う信^う仰^うに^うお^うけ^うる^う決^う意^うを^う新^うた^うに^うし、^うわた^うした^うち^うを^う生^うか^うし^うて^うく^うだ^うさ^うる^う神^うの^うい^うつ^うく^うし^うみ^うに^うよ^うり^うす^うが^うり、^う愛^うの^うう^うち^うに^う祈^うり、^う行^う動^うし^うた^うい^うと^う思^うい^うま^うす。